

奈良市歴史的風土保存計画及び風致保全方針

奈良市歴史的風土保存計画

昭和 42 年 1 月 25 日 総理府告示第 6 号
沿革 昭和 46 年 4 月 26 日 総理府告示第 16 号改正

古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法（昭和 41 年法律第 1 号）第 5 条第 1 項の規定により、奈良市歴史的風土保存区域（昭和 41 年総理府告示第 49 号）について、次のとおり歴史的風土保存計画を決定する。

奈良市歴史的風土保存計画

八世紀の始め、飛鳥藤原宮より平城京に遷都後、都市としての形態を整えた奈良は、その後大社寺を中心に繁栄し、数多くの歴史上重要な文化的資産を現代に伝えている。これら資産の大半は、東・西・北方のなだらかな丘陵地を背景に自然的環境と一体をなして特色のある歴史的風土を形成している。

1 歴史的風土保存区域内における行為の規制その他歴史的風土の維持保存に関する事項

歴史的風土保存区域内における行為の規制にあたっては、歴史的風土の特性に応じ、当該行為地の自然的環境と当該行為の種類および規模を勘案のうえ、歴史的風土に影響をおよぼすおそれのある行為はこれを規制するものとする。なお、その他必要に応じ、歴史上意義を有する建造物、遺跡等の維持保全等歴史的風土の積極的保存を講ずるものとする。

地区別の歴史的風土の特性に応ずる行為の規制の大綱は次のとおりとする。

（1）春日山地区

本地区の歴史的風土保存の主体は、春日大社、興福寺、東大寺等の歴史的建造物と一体となる奈良公園の自然的環境の保存にあり、背景となる春日山、御蓋山、若草山等の丘陵とその稜線における建築物その他の工作物の新築等、土地形質の変更、木竹の伐採等の規制に重点をおくものとする。また、春日奥山周遊道路沿道の石仏等の歴史的資産と一体となる原始林については、森林美の保存に重点をおくものとする。

（2）平城宮跡地区

本地区の歴史的風土保存の主体は、平城宮跡ならびに大型古墳群と一体となる自然的環境の保存にあり、平城宮跡および北部丘陵周辺においては特に建築物その他の工作物の規制、土地形質の変更および木竹伐採の規制にあわせて水上池等水辺景観の保存に重点をおくものとする。

（3）西の京地区

本地区の歴史的風土保存の主体は、薬師寺、唐招提寺等と一体となる自然的環境の保存にあり、両寺の間および県道奈良大和郡山斑鳩線からの展望域については、建築物その他の工作物の規制に重点をおくものとする。

- 2 歴史的風土保存区域内においてその歴史的風土の保存に関連して必要とされる保存施設の整備に関する事項
略
- 3 歴史的風土特別保存地区の指定の基準に関する事項
略
- 4 古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法第 11 条の規定による買入れに関する事項
略

春日山風致保全方針

1 地区の概況

奈良盆地の東端を形成する大和青垣の山並みと春日断層崖による「青垣」といった美しい自然景観の保全を念頭におき、東大寺、興福寺、春日大社といった国宝・重要文化財の建築群と周辺の緑地や山並みへの眺望等、奈良の重要な景観を維持・保全していく。また、山並みに緩く連なる市街化や田園・果樹園等の農村地域の風景といった、奈良全体のイメージを構成する景観を保全するために、緑地保全、建築物の意匠形態に配慮する。

2 地区の風致特性

(1) 風致構成要素

自然保全 + 歴史保全 + 市街地育成型

(2) ランドマーク

遠景：春日山、若草山、高円山、原始林

中景：奈良公園（東大寺、興福寺、春日大社等）

近景：奈良公園（東大寺、興福寺、春日大社等）

(3) 主な視点場

登大路、国道169号、飛火野、若草山

3 地区の維持・創出すべき風致の内容

(1) 保護すべき要素

自然：春日山原始林を含む森林

歴史：東大寺、興福寺、春日大社等の史跡及びそれと一体となっている緑地

(2) 維持・保全すべき要素

- ・春日山を中心とする山並みの稜線（遠景）
- ・青垣を形成する急斜面の緑地
- ・奈良公園周辺のまちなみ（近景）
- ・旧集落の一体感あるまちなみ（近景）

(3) 育成すべき要素

- ・歴史的景観との調和（遠景としての屋根並み）
- ・背景となる緑地との調和（遠景としての色彩、緑化による一体感）

4 ゾーンごとの建築物等の修景に関する方針

略

佐保山風致保全方針

1 地区の概況

地区内をほぼ東西に走る樹林地で形成される丘陵の尾根線が奈良の市街地の北側の線をつくっており、奈良盆地から見上げるスカイラインを自然性の高いものとしており、その眺望の保全を図る。また、丘陵より奈良盆地を望む視界が随所に開けており、地区のイメージをつくっている点にも配慮する。街道沿いの旧集落や古墳との調和を目指す。

2 地区の風致特性

(1) 風致構成要素

自然保全 + 歴史保全 + 市街地育成型

(2) ランドマーク

遠景：平城山丘陵

中景：古墳群

(3) 主な視点場

県道奈良・加茂線、ならやま大通り、一条通り

3 地区の維持・創出すべき風致の内容

(1) 保護すべき要素

稜線を形成する丘陵緑地（古墳群を含む）

(2) 維持・保全すべき要素

- ・丘陵周辺集落の屋根並の保全（中景）
- ・緑の多いまちなみ(遠景)

(3) 育成すべき要素

- ・まちなみの一体感（色彩等）

4 ゾーンごとの建築物等の修景に関する方針

略

平城山風致保全方針

1 地区の概況

地区内の大きなランドマークとなっている平城宮跡及びその背後の佐紀丘陵のスカイラインの保全に配慮するとともに、丘陵中腹に点在する古墳群とその樹林地を背後にして建ち並ぶ住宅地との調和を図ることを基本とする。

歴史的風土特別保存地区に指定されている古墳群や平城宮跡などの史跡と周辺住宅地の景観の調和を図るとともに、良好な住環境の形成に配慮する。

2 地区の風致特性

(1) 風致構成要素

自然保全 + 歴史保全 + 市街地育成型

(2) ランドマーク

遠景：平城山丘陵

中景：古墳群

近景：平城宮跡

(3) 主な視点場

平城宮跡、大宮通り、ならやま大通り、主要地方道奈良・精華線

3 地区の維持・創出すべき風致の内容

(1) 保護すべき要素

自然：平城山丘陵の稜線

歴史：平城宮跡、古墳群

(2) 維持・保全すべき要素

・平城宮跡より見える集落の屋根並みの保全（中景）

・平城宮跡より平城山丘陵への眺望（遠景）

・古墳隣接する集落の屋根並み（中景）

(3) 育成すべき要素

・歴史的景観との調和（遠景としての屋根並み）

4 ゾーンごとの建築物等の修景に関する方針

略

西の京風致保全方針

1 地区の概況

西の京丘陵の東端に位置し、西側の丘陵部分、川に沿った低地部分から構成される自然景観と丘陵麓にある垂仁天皇陵、秋篠川に沿って位置する唐招提寺、薬師寺の歴史的な社寺や史跡が近景においても、遠景においても特徴となっていることを踏まえる。

特に、唐招提寺、薬師寺及びその寺社林と門前集落の街並みを含む歴史的景観を保全することを基本とする。また、西の京丘陵よりの眺望を保全するとともに、盆地より見渡せる丘陵や寺社の緑地、寺社を背景とした周辺集落の家並み、薬師寺の塔より構成される田園風景と調和した景観の保全に努める。

2 地区の風致特性

(1) 風致構成要素

歴史保全 + 市街地育成型

(2) ランドマーク

遠景：薬師寺塔

中景：乘仁天皇陵

近景：薬師寺、唐招提寺

(3) 主な視点場

大池、薬師寺・唐招提寺、主要地方道奈良・大和郡山・斑鳩線

3 地区の維持・創出すべき風致の内容

(1) 保護すべき要素

薬師寺、唐招提寺、乘仁天皇陵

(2) 維持・保全すべき要素

- ・大池、秋篠川
- ・史跡に隣接する古いまちなみ(近景)
- ・史跡周辺の集落の屋根並み(中景)

(3) 育成すべき要素

- ・歴史的景観との調和(遠景としての屋根並み)

4 ゾーンごとの建築物等の修景に関する方針

略

あやめ池風致保全方針

1 地区の概況

各年代に一体開発された住宅地が多いことから、良好な住宅景観の育成と街並みの一体感の維持、育成に配慮することを基本とする。

あやめ池風致地区は歴史的には、平城宮を囲む丘陵地であり緩やかな田園地帯が広がり、中腹に秋篠寺、西大寺の2寺と門前町が広がっている地区であった。その後、鉄道の開設とともに住宅開発地が広がりをみせ、様々な年代に一体開発され、住宅地が地区のほとんど全域を占めるようになっていく。こうしたことを踏まえ、良好な住環境の維持・保全に努めるとともに、風致地区にふさわしい街並みの形成を目指すこととする。

2 地区の風致特性

(1) 風致構成要素

市街地育成型

(2) 主な視点場

蛙股池周辺、菖蒲上池周辺

3 地区の維持・創出すべき風致の内容

(1) 維持・保全すべき要素

- ・西大寺、秋篠寺
- ・西大寺、秋篠寺周辺のまちなみ（近景）
- ・緑の多いまちなみ

(2) 育成すべき要素

- ・まちなみの一体感（色彩、緑化等）

4 ゾーンごとの建築物等の修景に関する方針

略

富雄風致保全方針

1 地区の概況

矢田丘陵の北端より西の京丘陵に向かってなだらかに続く丘陵地帯であり、西の京丘から矢田丘陵、生駒山につながる山麓・丘陵景観の維持・保全を図ることを基本とし、近鉄富雄駅周辺部から徐々に進んでいる住宅開発を誘導し、良好な住宅景観の形成を図る必要がある。そのため、大規模開発の影響を受け、開発が進む住宅地に対し、周辺自然景観との調和や良好な街並み形成を図るとともに、第二阪奈道路やその沿線部における教育機関の設置による森林開発等も進められており、緑地の保全や自然景観の維持・保全に努める。

2 地区の風致特性

(1) 風致構成要素

自然保全 + 市街地育成型

(2) ランドマーク

遠景：矢田丘陵

(3) 主な視点場

国道308号、県道枚方・大和郡山線

3 地区の維持・創出すべき風致の内容

(1) 維持・保全すべき要素

- ・ 霊山寺と周辺の緑地
- ・ 矢田丘陵の稜線（遠景）
- ・ 丘陵上部を覆う緑地（遠景）
- ・ 旧集落の屋根並み（遠景）

(2) 育成すべき要素

- ・ 緑との調和

4 ゾーンごとの建築物等の修景に関する方針

略